

資産運用レポート：逆張り

1 はじめに

株式投資のやり方として、順張りと逆張りがあります。

順張りは、好業績銘柄の上昇トレンドに乗る形で売買を繰り返し、小さな利益をコツコツ積み重ねるやり方です。短期から中期のトレードで用いられます。

自分に合った売買ルールを作成し、どういった状況で利益確定を行うか、あるいは損切りするかを前もって決めておきます。投資につき、どうしても損が出るとは言え、トータルでの利益額が損失額を上回るようにするのが秘訣です。

順張りをマスターできれば、株式市場全体の上げ下げに関係なく、右肩上がり資産を増やすことが可能です。難易度は低く、売買ルールを守れば（きっちり損切りができれば）初心者にもできます。ミドルリスク・ミドルリターンの投資です。

一方で逆張りは、株価の下げている銘柄の安値を拾うやり方です。自分なりに企業の本質価値を計算し、時価が大幅にディスカウントされていれば、思い切って買いを入れます。長期投資家は基本的に逆張りです。

上手くいけば、多大な利益を得られ、株式投資の醍醐味を味わえます。その一方で、順張りのような機械的な損切り（買値から10%下げれば売るなど）を行わないため、本質価値の計算を誤れば多大な損失を被ります。

ウォーレン・バフェット氏を筆頭に、名だたる大投資家は逆張りで資産を築きました。投資を始めた以上は、最終的に逆張りを極めたいものです。難易度は高く、相応の勉強と経験を必要とします。ハイリスク・ハイリターンの投資です。

今回の資産運用レポートは、逆張りについて取り上げます。